

指定管理者による公の施設の管理運営状況（令和6年度分）

施設名	県営住宅及び共同施設
施設所管課	住宅課
指定管理者	一般財団法人茨城県住宅管理センター
指定期間	R3. 4. 1～R8. 3. 31（5年間）

1 施設の概要

施設所在地	茨城県内					
施設の概要	・28市町村 12,973戸（令和7年4月1日現在）					
	市町村名	戸数	市町村名	戸数	市町村名	戸数
	水戸市	4,124	桜川市	190	下妻市	72
	日立市	2,127	筑西市	184	常陸大宮市	70
	ひたちなか市	1,592	守谷市	168	鹿嶋市	66
	土浦市	1,006	東海村	162	北茨城市	60
	つくば市	645	石岡市	144	常陸太田市	54
	龍ヶ崎市	448	高萩市	128	常総市	48
	古河市	396	結城市	108	稲敷市	48
	潮来市	344	茨城町	104	城里町	30
	笠間市	253	阿見町	102		
	神栖市	210	かすみがうら市	90		
業務内容	・入退去に関する業務 ・家賃等の収納に関する業務 ・駐車場の維持管理に関する業務 ・修繕に関する業務 ・環境整備に関する業務 ・その他上記に附帯する業務					

2 職員の状況

R7. 4. 1現在

常勤職員：	81人	非常勤職員：	0人	合計：	81人
-------	-----	--------	----	-----	-----

3 収支状況

令和6年度

（単位：円）

収 入		支 出	
指定管理料	1,525,206,947	人件費（給与等）	232,612,000
利用料収入	0	光熱水費	0
自主事業収入等	0	租税公課等	0
その他（利息等）	0	自主事業費	0
		その他（事務費・修繕費等）	1,292,594,947
収入合計	1,525,206,947	支出合計	1,525,206,947

4 利用状況

	令和 6 年度実績	令和 5 年度実績	令和 4 年度実績
①新規入居戸数(戸)	314	469	287
②年度末入居戸数(戸)	9,136	9,377	9,640
③利用料収入(円) (指定管理者収受額)	0	0	0

5 サービス向上に向けた取組み

- ・団地自治会や連絡員の会合への参加（適宜参加）
- ・高齢者調査票の配布開始（H21.10～）
- ・電話による安否確認サービス「安心コール」の実施（H22.4～）
- ・ホームページでの入居申込書等ダウンロードサービスの開始（H22.4～）
- ・休日・夜間緊急電話連絡用コールセンターの設置（H24.4～）
- ・ホームページリニューアルによる提供情報の拡充（H25.9～適宜実施）
- ・プライバシーマークの取得（H26.2～）
- ・こどもを守る110番の家（車）に参画（H30.10～）
- ・感圧式液晶画面の筆談機導入（H30.12～）
- ・日立センター開設（県北地域の管理業務開始H31.4～）
- ・社会福祉協議会法人の会員登録（H31.4～）
- ・認知症サポーターの受講（R1～ 受講者54名）
- ・准サービス介助士資格の取得（R1～ 取得者38名）
- ・普通救命講習Ⅰの受講（R1～ 取得者50名）
- ・地域包括支援センター等との連携（R2～）
- ・耳マークの窓口掲示（R2.4～）
- ・公益財団法人茨城県暴力追放推進センター賛助会員への入会（R2.9～）
- ・防災マップの配備（25団地 配備完了）
- ・液晶翻訳ディスプレイの窓口設置（R4.1～）
- ・入居者のしおりの英訳版作成（R4.1）
- ・茨城県認知症の人にやさしい事業所に認定登録（R5.10～）
- ・賃貸不動産経営管理士の取得（R6.9～ 取得者5名）
- ・賃貸住宅メンテナンス主任者資格の取得（R6.11～ 合格者27名）
- ・D&I 検定 3 級茨城版の受検（R7.1～ 取得者52名）

6 利用者満足度調査の結果及び対応状況

○実施方法

モニタリング（アンケート方式）の実施

- ・実施日 令和7年2月14日
- ・対象者 200件 回答件数 80件（40.0%）

○調査結果

①情報の提供

満足 35.0%、ふつう 60.0%、満足していない 5.0%

②要望、苦情の対応

満足 35.0%、ふつう 51.0%、満足していない 14.0%

③施設の管理

満足 17.0%、ふつう 51.0%、満足していない 32.0%

④今後の期待

修繕等40.9%、共同施設の管理10.9%、自治会支援20.9%、駐車場問題10.9%、相談会9.1%、その他7.3%

○利用者からの意見等 【良い点】 ・近隣の民間アパートより家賃が低額。 【悪い点】 ・住戸内設備の老朽化が著しい。 【要望】 ・ペットの飼育、モラルのない入居者への対応。 ・自治会の運営についての不安。 ・建物や設備等の不具合等の改善。 ○対応状況 ・入居者のモラルに関する要望は、個別対応（訪問指導、回覧）の上で、継続的に改善を図るため広報誌らいふでの周知を強化する。 ・緊急性の高い修繕要望については必要性を勘案の上順次対応を進める。

7 管理運営状況の評価

評価項目	事業計画 (管理指標)	実績 (管理指標に対するコメント)	自己 評価	所管課 評価
維持管理	設備保守点検は、事業計画等に照らし適切か。	施設管理は、関係法令に基づき専門業者に業務を委託している。	B	B
	整理整頓・清掃が行き届いているか。 (建物・植栽等)	定期的な点検パトロールで現況を確認し、必要に応じ自治会に指導している。また、植栽については、専門業者に委託している。	B	B
	破損箇所の修繕は適切か。	入居者からの連絡及び点検パトロールで発見した破損箇所は、随時、修繕を実施している。	B	B
施設運営	使用日数、使用時間等は守られているか。	条例等を遵守し、適切な運営を行っている。	A	A
	予約・利用許可等、利用者への対応は平等・公正に行われているか。	定期募集を年4回及び随時募集を実施しており、定期募集では応募者が募集戸数を上回った場合は、公開抽選により決定している。	A	A
	創意工夫により、魅力ある自主事業の実施等、施設の利用拡大やサービスの向上が図られているか。	サービスの向上に向け、内部委員会等で検討するなどし、各種自主事業を積極的に実施している。	B	B
	利用者の要望を把握し、運営に反映させ、満足度を高めているか。	点検パトロールで、連絡員から情報収集をしており入居者のニーズの把握に努めている。	B	B
運営体制	職員は適切に配置されているか。	適切に人員配置を行っている。	B	B
	要望、苦情等への対応は迅速かつ適切か。県へ報告しているか。	都度県との情報共有を図り、迅速・適切に行っている。	A	A
	事故・災害等、緊急時に備えた体制は確保されているか。	防災マニュアルの整備ほか夜間・休日は職員が24時間携帯電話を携帯し、緊急受付体制及び関係業者との連携を整備している。	A	A
	県、その他関係機関との連携は取れているか。	必要に応じ消防署、市町村福祉部局や福祉関連団体などの関係機関との連携をとっている。	A	A

利用状況	利用者数の状況は、計画を達成できているか。	前年度に対し241件減となっている。	B	B
	施設の稼働率は、事業計画に照らして適当な水準にあるか。	入居率は少しずつ低下しているが、入居率向上の取組を実施している。	B	B
収支状況	収支計画が適正に執行されているか。	年間計画に対して適正に執行できている。	A	A
	経費削減に向けた取組みがされているか。	必要な経費については適切に支出し、帳票類の電子データ化による印刷用紙の削減、共通備品の一括発注等により経費削減に努めている。	A	A
【総合評価】・・・各評価項目及び施設の性格・特殊性を考慮した総合的な評価 ・外国人利用者の多いつくばセンターに液晶翻訳ディスプレイの設置や、筆談機の導入、耳マークの掲示、入居者のしおりの英訳版作成など入居者のサービスの向上のための取組を行っている。また、修繕管理のシステムを開発、導入をして修繕対応の迅速化を図るなど、施設の修繕、維持管理も適切に行われており、総合的に見て良好であると評価できる。				

- ※
- ・実績（管理指標に対するコメント）欄については、指定管理者が記入する。
 - ・総合評価欄については、所管課が記入する。
 - ・自己評価、所管課評価欄について

評価	評価基準
A	事業計画を上回る成果があったもの
B	事業計画どおりの成果があったもの
C	事業計画を下回っており、改善努力が必要なもの